

-ハンディカムで残す、生後1000日間のプレシャスモーメント-
「きみとの1000日を、ずっと。」キャンペーン
本日4月8日(火)よりスタート

我が子を愛する父が残し続けた、生後1000日間を描いたスペシャルサイトを公開

キャンペーンサイトURL: <http://www.sony.jp/handycam/specialmovie/1000days/>

ソニーマーケティング株式会社は、このたび高画質・多彩な撮影機能を搭載したデジタルビデオカメラ ハンディカム™のプロモーションの一環として、「きみとの1000日を、ずっと。」キャンペーンを展開いたします。

赤ちゃんは生まれてからの1000日間で、みるみるうちに子どもへと大きく成長します。ソニーは、この生後1000日間という我が子と過ごす愛おしい日々・二度と戻らないプレシャスモーメントに着目し、これを動画で残す価値をご提案いたします。本キャンペーンでは、日常の中に潜むふとした表情や昨日までは見せなかった成長を感じさせる場面を、動画で残していくための、様々なプロモーションを展開してまいります。

本日のキャンペーン始動に伴い公開されたスペシャルサイトでは、長いようであつという間のかげがえのない日々を、動画できれいに残していく価値が実感できる、2種類のWEBムービーをご用意しております。子どもの成長を追い続けた、温かな愛情溢れる映像を、是非ご覧ください。

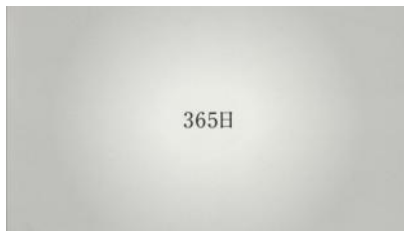


「きみとの1000日を、ずっと。」特設キャンペーンサイトのご紹介

<「きみとの1000日」篇>

本日より公開となる「きみとの1000日を、ずっと。」特設サイトでは、生後1000日間という長いようで短い、二度と戻らないかけがえのない日々を描いたWEBムービーをご覧ください。

初めて息子を持つ父親が、成長していく子どもの日々をハンディカムで残していく様子を描いており、「この世界に生まれてきた日」「1歳の誕生日」「初めて自分の足で立った瞬間」といったシーンを、その表情まで美しく映し出しています。生後1000日間という時間の短さ・貴重さを改めて感じることができる、愛情や優しさがたっぷり詰まったムービーです。



<「時をこえる思い出」篇>

同時に、愛くるしい孫の姿を4K高画質ハンディカムで追いつける祖父を描いたムービーも公開中です。成長していく孫の姿をかつての我が子と重ね合わせながら、そのかけがえのない日々を最高のかたちで残していく。祖父ならではの、孫の思い出の残し方を描いたムービーです。



-製品情報-

デジタルHDビデオカメラレコーダー

HDR-PJ800 / HDR-CX535

広角端から望遠端まで手ブレ補正幅を約13倍※1に高める独自技術を採用した「空間光学手ブレ補正」機能を搭載し、ブレやすいズーム時でも高画質の安定した映像の撮影が可能。

※1 スタンダードモード時の手ブレ補正角度との比較。手ブレ補正効果は撮影条件により異なることがあります。

□ 価格：オープン価格

デジタル4Kビデオカメラレコーダー

FDR-AX100

高精細な4K映像の撮影に最適なイメージセンサー、画像処理エンジン、新開発レンズを搭載し見たままの質感や高精細で遠近感のある描写が可能になったデジタル4Kビデオカメラレコーダー ハンディカム™。

□ 価格：オープン価格

HDR-PJ800



(B)ブラック

(T)ブラウン

HDR-CX535



(B)ブラック

(W)ホワイト

(T)ブラウン

(P)ピンク

FDR-AX100



(B)ブラック

コラム：「The First 1000 days」～生後1000日という二度と戻らないプレシャスな瞬間を祝う～

**佐藤 めぐみ(育児コンサルタント)**

子育て心理の専門家&プラス思考育児.JP主宰

現在はフランス・パリを基点に活動中。

著書に『子育て心理学のプロが教える 輝くママの習慣(あさ出版)』

『叱るときのイライラがなくなる！ 佐藤めぐみのポジカメソング』(All About Books)」など。

海外では、我が子の初めの1000日「The First 1000 days」にフォーカスした取り組みがすでに始まっています。イギリスでは「The First 1000 days」を、その子の人生に最大の影響力を持つ期間とし、現在、大規模なリサーチを行っている最中。また、ママ世代には「The First 1000 days」を綴るマザーズダイアリーや、赤ちゃんにとって最適な栄養価を考えた1000日間の食育への取り組みなどが人気のようです。それぞれのアプローチは違えど、かけがえのない赤ちゃん時代を大切に思う気持ちは同じ。我が子の生後1000日を記録し、祝う。これは、子育て心理学的に見てもおすすめの習慣です。

毎日、何かしらの達成や変化があると言われている生後1000日間の日々。寝返り、おすわり、たっち、あんよの瞬間、さらには「ママしかダメ！」の人見知り期、「何でもイヤイヤ！」の魔の2歳児期、「1人でやるの！」の冒険期。体のみならず、心も日々成長していきます。

そして1000日目。我が子の生誕1000日は、同時に、パパとママにとって、家族の生誕1000日。その1000日間の記録を見ながら一緒にお祝いすれば、一瞬で、あの日の感動へタイムスリップ。心に満ちていた初心までもがよみがえってくることでしょう。

二度と戻らないプレシャスな日々の記録。これは10年、20年と年月を経るごとにますますかけがえのない宝物になっていきます。3歳までの子どもの記憶は残りにくいことが分かっていますが、それをカバーできるのも、生後1000日を鮮やかな映像で残すという新習慣の魅力。最近では、スマホやデジカメで我が子を撮影する人も多いですが、1000日間の貴重な日々を、動画専用機であるハンディカムで、きれいに残してみたいはかがでしょうか？